

## 看護師・助産師 募集

医学部附属病院では看護師・助産師の募集を随時行っています。大学病院で働いてみたい、病院を見て色々知りたいと思われた方は、お気軽に連絡ください。あなたの笑顔をお待ちしています。



【お問い合わせ先】

三重大学医学部附属病院看護部  
☎059-231-5183 又は ☎059-231-5184

## FM三重で放送中!!

～学生の企画するFMラジオ番組～

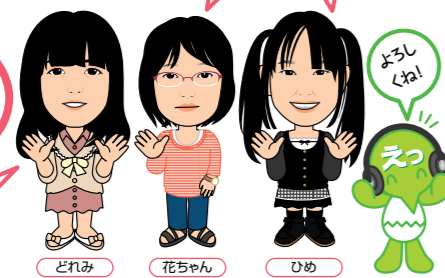
### 「Campus CUBE」

毎週金曜日20:30～20:55の間の25分間、放送中です!

皆さん、  
聴いてください!

### パーソナリティー募集!

対象は三重大生です!  
ぜひ応募ください!



★応募先★

三重大学企画総務部総務チーム 広報室 TEL 059-231-9789

## アンケートに答えて...

### 三重大学オリジナルグッズをもらおう!!

「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。平成26年3月31日(月)(当日消印有効)までにアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で3名に「三重大学ブランド商品詰め合わせ(三重大学カレー2個、三重大学学長パウム1個、チェンソー1箱)」を、50名に「えっくすくんわくわくシャーペン」をお送りします。どしどしお寄せください。\*当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

→「三重大学ブランド商品詰め合わせ」、「えっくすくんわくわくシャーペン」をご希望の方は、巻末の綴り込みはがきにご感想等必要事項をご記入の上ご投函ください。



三重大学ブランド商品詰め合わせ

抽選で  
3名様

抽選で  
50名様

## お願い

### 三重大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大学の目的・使命を達成する一助となることを目的に「国立大学法人三重大学振興基金」を設立しました。次の事業を計画しておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

- ◎学生への奨学金及び災害時の学資援助事業
- ◎学生の修学環境整備事業
- ◎学生・教職員の海外留学その他国際交流活動等への支援事業
- ◎地域貢献支援事業
- ◎その他本学の目的達成に必要な事業

●募金の方法● 三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、ご記入の上ご郵送ください(FAX・E-mailでもOKです)。

「郵送先」  
お問い合わせ先

### 三重大学振興基金事務局

【企画総務部総務チーム内】

〒514-8507 津市栗真町屋町1577

TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000

E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp

URL: <http://www.mie-u.ac.jp/foundation/>

## メールマガジンのご案内

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています(発行:毎月末)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、「三重大」に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしています。

配信お申込み方法

次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。

- 1.メールのタイトルは「メールマガジン希望」と記入してください。
- 2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。  
①「一般」もしくは、「三重大生(保護者)」 ②お住いの都道府県

[koho.m-maga@ab.mie-u.ac.jp](mailto:koho.m-maga@ab.mie-u.ac.jp)

できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくことになります。



▶鳥ヶ原本陣周辺の町並



▶鍵屋の辻の道標

伊賀上野を越えると、街道はいよいよ大和を目指す道になります。城下町を出外れた鍵屋の辻には「ひだりなら道 みぎいせみち」の道標があり、大和はもう一息です。この先、木津川を渡る長田橋の東橋詰には「淀川溯航終点」と刻んだ記念碑が見えます。木津川、更に淀川の水運は、伊賀と上方を結ぶ物資輸送の動脈でした。江戸時代後期には大和の笠置から伊賀の間にも通船が設けられましたが、川幅の狭い峡谷のため、その維持には大きな苦勞が伴いました。

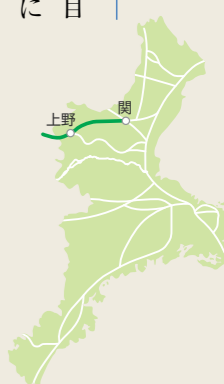
ここからしばらく田畑の間を進み、山間を抜けると再び瀬音が聞こえ、木津川対岸に伊賀最西の宿場町、鳥ヶ原の家々が見えてきます。ここには船番が置かれ、旅人や牛馬が行き交った町並の中心には本陣が残されています。街道はその先、山城の大河原、笠置から奈良に至り、更に生駒を通って、河内に通じます。

ここで街道を逸れて北の方に進むと、観音提寺に至ります。伊賀は古くから柚山や莊園などで、東大寺との関係の深い土地ですが、観音提寺は奈良時代に東大寺の実忠により開創されています。優美な楼門と本堂は、ともに三重県で最も古い室町時代の建築です。正月堂とも称される本堂の名は、新暦一月十一、十二日を中心に行われる修正会にちなむものです。地域の人が大餅を奉納する華やかな大餅会式と、達陀の行法をはじめとする厳肅な法要を行う修正会。修正会の音声が山間に響いて、伊賀の国は春を迎えます。

三重大学大学院工学研究科教授  
菅原 洋一



▶観音提寺



三重大学 企画総務部総務チーム 広報室  
〒514-8507 津市栗真町屋町1577  
TEL 059-231-9789 / FAX 059-231-9000  
ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>  
E-mail [koho@ab.mie-u.ac.jp](mailto:koho@ab.mie-u.ac.jp) \*ご意見をお寄せください。

### 三重大 X[えっくす] vol.31

平成26年1月15日発行  
●発行/三重大学広報委員会  
●編集/三重大学企画総務部総務チーム広報室  
●印刷/有限会社アートピア [artopia@zvtv.ne.jp](http://artopia@zvtv.ne.jp)  
◎禁断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。